

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

先日、「第24回 次世代の薬剤師を創る会」が開催されました。会場とWeb会議サービスZoomとのハイブリッド開催でしたが、「理由がないと外に出にくい」と新幹線に来て、会場参加してくださる人もいらっしかったです。

会では、しおかぜメモリークリニック・南辰也院長先生から「在宅精神科医からの目線」についてご講演いただきました。国を挙げて在宅を推進する中、在宅精神科という新しい分野に挑戦する南先生のお話は非常に興味深かったです。南先生によると、認知症は記憶障害が出るため、外来予約日を忘れて来なくなってしまう患者があり、そこから訪問診療が始まるといいます。また、うつ病は焦燥感から救急車や警察を呼んでしまう人も多く、そこから紹介を受けて、訪問診療を始める先生も少なくないそうです。認知症は記憶障害が印象的ですが、記憶障害はなくても、実行機能障害といった家電製品が使えなくなるなどの症状が出る人も多いため、在宅診療で住環境を把握して、より深く患者さんを知るとのことでした。

南先生は薬剤師に対し、「精神科の患者は薬をきちんと飲めていないケースが多いため、薬の管理をしてくれる薬剤師さんの存在はありがたく、今後も協力したい」というメッセージを残してくれました。引き続き、在宅医療にも目を向けていきましょう!

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子